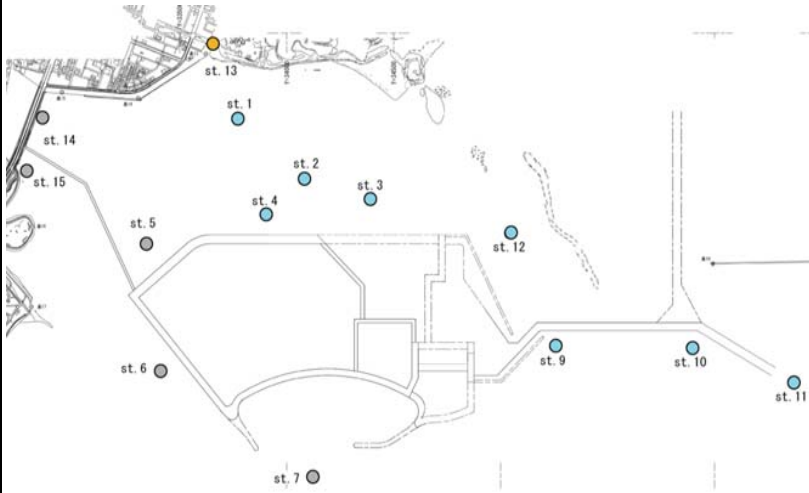


第12回(3月期モニタリング/フィードバック 月例会議)

対象期間:平成30年3月1日～平成30年3月28日 那覇港湾・空港整備事務所

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	クビレミドロ監視地点及び 工事の濁り監視地点の全てで、監視基準を満足していた。 クビレミドロ監視地点での最大値は3月21日のst.1で4.8mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は3月21日のst.4で4.6mg/Lであった。			
	水質調査結果	クビレミドロ監視地点 基準値 【st.1～3: SS=7mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は2.9mg/L、1.2mg/L～4.8mg/Lの範囲で推移していた。	調査期間中は、国施工の工事は航路泊地浚渫工事で航路浚渫、台船運搬、汚濁防止柵および汚濁防止膜の撤去、深浅測量が行われており、護岸工事では裏込材(投入)、(均し)、汚濁防止柵撤去、灯浮標撤去、標識灯撤去が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されていなかった。 県施工の工事は県道20号線(泡瀬工区)橋梁関係の試験杭打設、コンクリート打設、汚濁防止膜設置、型枠組立・解体、鋼矢板引抜、埋戻し、クレーン作業、資材搬出等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されていなかった。
工事の濁り監視地点 基準値【st.4～12:SS=11mg/L】		全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は1.8mg/L、<1～4.6mg/Lの範囲で推移していた。		
流入部負荷量の調査地点		SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=26回(28計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13= 2回(22計測中) 平均値は35mg/L、11～50mg/Lの範囲で推移していた。		
流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。		3/5、3/7の50 mg/Lが最大値であった。 なお、3/5の降水量が、前々日108mm、前日0.5mm、当日9.5mm、3/7の降水量は前々日9.5mm、前日0.0mm、当日2.0mmであり、どちらも降雨による濁水流入により高くなった。		
基準超過時の気象概況	*全ての地点で、監視基準を満足していた。		【調査位置図】 	
	基準超過時の工事状況	全ての地点で、監視基準を満足していた。		







異常確認の有無

工事との関連性

対策の検討

目視観察結果

調査地点の最高値は3月17日(PM)のst.5で観測された6.7mg/Lであった。  
期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。

水質調査結果

詳細結果

工場の濁り監視地点基準値  
【st.5～8:  
SS=11mg/L】  
期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。  
平均値は2.4mg/L、<1.0～6.7mg/Lの範囲で推移していた。

流入部負荷量の調査地点  
SS=11mg/Lを超えた回数: st.14=27計測中24回  
st.15=27計測中18回  
SS=50mg/Lを超えた回数: st.14=27計測中1回  
st.15=27計測中1回

流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。  
st.14:3/3 (PM 上げ潮時)66mg/Lが最大値であった。  
なお、降水量は前々日が0.0mm、前日が0.0mm、当日が108mmであった。降雨による濁水流入はみられなかった。  
st.15:3/3 (PM 上げ潮時)86mg/Lが最大値であった。  
なお、降水量は前々日が0.0mm、前日が0.0mm、当日が108mmであった。降雨による濁水流入はみられなかった。

特になし

特になし

基準超過時の気象概況

基準超過時の気象概況は以下の通りであった。  
  
全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。

基準超過時の工事状況

基準超過時の工事内容は以下の通りであった。

【調査位置図】

